



<産業現場等における実習が始まります>

来週から、3年生の産業現場等における実習が始まります。(今週からスタートしている生徒も数名います。)3年生にとっては、卒業後の進路先を決める就職試験です。昨年度より実習先の評価は厳しくなります。自分の力を発揮できるように、心と体の調子を整え、毎日休まずに実習を乗り切ってほしいと思います。

2年生は、23日から校内実習が始まります。今回の現場実習は、ほとんどの生徒が昨年度より長い期間の実習となります。実習をやり遂げる体力や、実習中と休憩中の切り替える力を付け、実習に臨む準備をしてください。

1年生は、職業の授業を行い、6月末からの校内実習に向かいます。働くとはどういうことか、働くために今の自分に必要な力は何か、自分は何が得意で、どのようなことが課題なのか、体験しながら考えていく大切な学習の機会となります。まずは、2週間の校内実習にトライしてください。

今年も猛暑が予想されます。水分補給や衣服の調整を行い、熱中症予防を心掛けてほしいと思います。

<今後の進路にかかわる流れ>

校内実習(6~7月) 2~3年生…1週間 1年生…2週間



産業現場等における実習(6月~7月 3年生…3週間程度 2年生…2週間程度)



実習報告会(7月)



進路面談(7月 2, 3年生)



個別面談(9月)



産業現場等における実習(10月 3年生…3週間程度 2年生…2週間程度 1年生…1週間程度)



実習報告会(11月)



進路面談(11月 1, 2, 3年生)



産業現場等における実習(1月 1年生…1週間程度)



実習報告会(1年生)



個別面談(2月 1, 2, 3年生)



各学年の詳細は裏面を御覧ください。

<1年生>

月	学習・行事等	内容
6月	職業「働く人になるために」	・働くための生活リズム等 ・校外学習（卒業生の進路先見学）
7月	校内実習（2週間）	・企業から借りた資材を使い作業をして働く生活の体験を行います。（校内実習期間中、自由参観週間があります。）
	実習報告会（1～3年生）	・2，3年生の現場実習報告、1年生は代表者が校内実習報告をします。 ※1年生保護者には、報告会の前に実習先決定に向けて説明をします。詳細は、学年よりお伝えします。
8月	福祉事業所見学（希望者）	・希望がある方は、生徒、保護者で見学できます。（保護者のみも可能です。）
9月	個別面談	・実習先候補を本人、保護者、担任で確認。 ※面談後、学校から実習候補先に連絡し、実習可能であれば、実習先決定となります。
10月	実習先事前打ち合わせ 校内実習（2週間） 産業現場等における実習（5日間程度）	・本人、保護者、学年担当が実習先を訪問し、挨拶と事前の打ち合わせを行います。 ・保護者は、実習初日と最終日に訪問します。 ※実習期間は実習先との調整となります。
11月	実習報告会（1～3年生） 進路面談	・実習を振り返り、成果と課題、今後に向けての目標を発表します。 ・実習先からの「評価表」をもとに実習を振り返り、次回の実習先を相談します。 ※学校から実習候補先に連絡し、実習可能であれば、実習先決定となります。
1月	実習先事前打ち合わせ 校内実習（1週間） 産業現場等における実習（5日間程度）	・本人、保護者、学年担当が実習先を訪問し、挨拶と事前の打ち合わせを行います。 ※保護者は、実習初日と最終日に訪問します。
2月	実習報告会（1年生） 個別面談 進路希望調査	・1年生が実習を振り返り、成果と課題、今後に向けての目標を発表します。 ・実習先からの「評価表」をもとに実習を振り返り、次回の実習先を相談します。

<社会生活に向けて>

高等部在学中に、「お金の管理」について御家庭でも話題にしておいてもらいたいと思います。家の人と一緒に買い物に行く、自分で買い物に行く、1か月の自分の小遣いの使い方を考える、小遣い帳をつける、など意識して生活をしてほしいと思います。卒業後のお金の使い方につながっていきます。普段の生活から取り組んでみてください。



< 2 年 生 >

月	学習・行事等	内容
4 月 ～ 5 月	※学校から実習候補先に連絡し、実習可能であれば、実習先決定	
5 月 ～ 6 月	実習先事前打ち合わせ	・ 本人、保護者、学年担当が実習先を訪問し、挨拶と事前の打ち合わせを行います。
6 月	校内実習（1 週間）	・ 企業から委託された資材を使い作業をします。
7 月	産業現場等における実習（2 週間程度） 実習報告会（1 ～ 3 年生） 進路面談	・ 保護者は、実習初日、中日、最終日に訪問します。 ・ 2，3 年生の現場実習報告をします。 ・ 実習先からの「評価表」をもとに実習を振り返り、本人、保護者、担任で次回の実習先を相談します。
9 月	個別面談	・ 10 月実習についての進捗状況の確認します。
10 月	実習先事前打ち合わせ 校内実習（1 週間） 産業現場等における実習（2 週間程度）	・ 保護者は、初日、中日、最終日に訪問します。
11 月	実習報告会（1 ～ 3 年生） 進路面談	・ 実習を振り返り、成果と課題、今後に向けての目標を発表します。 ・ 実習先からの「評価表」をもとに実習を振り返り、次回の実習先を相談します。 ※学校から実習候補先に連絡。実習可能であれば、実習先決定となります。
2 月	個別面談 進路希望調査	・ 次年度の実習先を再度確認

< 社会生活に向けて >

高等部在学中に、「お金の管理」について御家庭でも話題にしておいてもらいたいと思います。家の人と一緒に買い物に行く、自分で買い物に行く、1 か月の自分の小遣いの使い方を考える、小遣い帳をつける、など意識して生活をしてほしいと思います。卒業後のお金の使い方につながっていきます。普段の生活から取り組んでみてください。



< 3 年 生 >

月	学習・行事等	内容
4 月 ～ 5 月	※学校から実習候補先に連絡し、実習可能であれば、実習先決定	
5 月 ～ 6 月	実習先事前打ち合わせ	・ 本人、保護者、学年担当が実習先を訪問し、挨拶と事前の打ち合わせを行います。
6 月 ～ 7 月	校内実習（1 週間） 産業現場等における実習（3 週間程度）	・ 企業から委託された資材を使い作業をします。 ・ 保護者は、実習初日、中日、最終日に訪問します。
7 月	実習報告会（1～3 年生） 進路面談	・ 2，3 年生の現場実習報告、1 年生は代表者が校内実習報告をします。 ・ 実習先からの「評価表」をもとに実習を振り返り、本人、保護者、担任で次回の実習先を相談します。
8 月	求職登録 就労アセスメント（3 日間程度）	・ 企業、A 型事業所を希望する生徒、保護者、担任、ハローワーク担当官と面談し、求職登録を行います。 ・ 就労継続 B 型事業所利用を希望する生徒が、指定された就労移行支援事業所でアセスメントを行います。
9 月	個別面談	・ 10 月実習についての進捗状況の確認をします。
10 月	実習先事前打ち合わせ 校内実習（1 週間） 産業現場等における実習（3 週間程度）	・ 保護者は、初日、中日、最終日に訪問します。
11 月	実習報告会（1～3 年生） 進路面談	・ 1～3 年生が実習を振り返り、成果と課題、今後に向けての目標を発表します。 ・ 実習先からの「評価表」をもとに実習を振り返り、進路先について確認をします。 ・ 移行支援会議についての説明、個別の移行支援計画の検討を行います。 ※企業、A 型事業所就労を希望する生徒については、応募書類の準備、選考試験等が行われます。
2 月	個別面談	・ 個別の移行支援計画について最終確認をします。
3 月	移行支援会議	・ 本人、保護者、進路先など関係機関が集まり、会議を行います。

< 社会生活に向けて >

高等部在学中に、「お金の管理」について御家庭でも話題にしておいてもらいたいと思います。家の人と一緒に買い物に行く、自分で買い物に行く、1 か月の自分の小遣いの使い方を考える、小遣い帳をつける、など意識して生活をしてほしいと思います。卒業後のお金の使い方につながっていきます。普段の生活から取り組んでみてください。